

2020年12月24日

SDGsに向けてさらなる取り組みを  
—駒場学園高等学校 本校舎および御殿場校舎に、再生可能エネルギー100%の電気  
「プレミアムゼロプラン」供給を開始 年間約427tのCO2削減に貢献—

①プレミアムゼロプラン導入開始について

学校法人駒場学園(東京都世田谷区代沢、理事長 笠原喜四郎)では、持続可能な開発目標(SDGs)実現を目指す取り組みの一環として、2021年1月から本校舎及び御殿場校舎で消費する電力について、出光グリーンパワー株式会社が提供する「プレミアムゼロプラン」の使用を開始いたします。当プランにより両校舎で使用する年間約94万kWhの電力がCO2排出量ゼロとなり、約427t※1のCO2の削減を図ります。

②プレミアムゼロプラン(出光グリーンパワー)の説明

プレミアムゼロプランは、再生可能エネルギー(FIT電気※2含む)100%の電源にトラッキング付非化石証書※3を付与したメニューになります。したがって、プレミアムゼロプランは、CO2排出量ゼロの実質的に再生可能エネルギー100%の電力メニューであり、再生可能エネルギー100%の電力使用を目標とするRE100※4の要件を満たすものです。出光グリーンパワー株式会社は2010年の事業開始より再生エネルギー電力を中心とした電気小売事業を行っており、東京都が温室効果ガス排出量削減を目指し取り組んでいる「東京都キャップ&トレード制度」の低炭素電力の供給事業者に6年連続で認定されています。

③駒場学園高等学校のSDGsの取り組みについて

駒場学園高等学校では、豊かな未来を若い世代に創造してほしいという思いから、SDGsに取り組んでおります。また、探究型進路指導の一環として、探究学習の時間を利用してSDGs学習を実施し、今後、修学旅行等の諸行事においても全面的にSDGsアクションを推進します。

【ゼロウェイスト】

コロナ禍は、生命、経済に甚大な損害を与え、私たちはこれまで当たり前だと思っていたさまざまなことを見直さざるを得なくなりました。

学園では、今年度5月からオンライン授業を開始し、6月には分散登校に切り替えました。その際、衛生上の観点から全教室のゴミ箱を撤去し、生徒にはゴミを持ち帰る指導をしておりました。

7月に入り、一斉登校を再開するにあたって、議論を重ねた結果「新しい日常」をSDGsの観点から捉え直し、「自分のゴミは責任を持って全て持ち帰る」というゴミの持ち帰り指導を継続することといたしました。

「自分で出したゴミは、最後まで自分で責任を持つ」「そもそも、なるべくゴミを出さない生活を心がける」という「使う責任」の意識は生徒に定着したと思われま

その結果、7月以降、月平均 150 kg のゴミが削減されました（9～11 月平均。一般廃棄物のみ）。これは年間に換算しますと実に 1.8 トンの削減となります。

### 【ゼロエミッション】

ゼロウェイストを受け、生徒全員が SDGs アクションを起こしたことで、本学園としても、1 月より学園全体で使用する電力を、100% 再生可能エネルギーに移行することを決定いたしました。学園では、2018 年、新校舎竣工と共に太陽光パネルを設置し、消費電力の一部に充てておりましたが、これによって、年間約 94 万 kWh の電力が全て再生可能エネルギーへと転換され、CO<sub>2</sub> の大幅な削減が行われます。

個々人でも、学園でも、さらに SDGs アクションを推し進め、少しでも良い環境、良い社会を目指して邁進して参りたいと思います。

※1. 2019 年度駒場学園高等学校本校および御殿場校舎の年間電力使用量並びに環境省・経済産業省公表の 2018 年度排出係数を基に概算。

※2. 固定価格買取制度 (FIT) によって電気事業者に買い取られた再生可能エネルギー。

FIT 電気の CO<sub>2</sub> 排出量は、火力発電なども含めた全国平均の電気の CO<sub>2</sub> 排出量として扱われます。

※3. 環境価値の由来となった再生可能エネルギー電源の発電方法や所在地などの属性情報を明らかにした非化石証書。この非化石証書を活用した電気を小売電気事業者が販売した場合、その電気は再生可能エネルギー由来として扱われ、RE100 を宣言する企業・団体の取組にも活用できます。

※4. 事業運営に必要な電気を 100% 再生可能エネルギーで賄うことを目標とする国際イニシアチブを指します。

---

本件に関するお問い合わせ先 : 駒場学園高等学校 教育推進部

Tel: 03-3413-5561 Fax: 03-3795-9068